

【奨励賞】

DX時代の中小企業向け金融の新手法 ～既存の中小企業金融の限界の打破から企業将来価値ベースの ファイナンスへ～

中央大学 法学部	浅沼 百士
〃	保坂 健人
〃	内藤 未来
〃	松井 文香
〃	藤田 菜乃歌

(要旨)

中小企業向け融資をどのように増やすのかは、従前からのわが国の課題であり、その手段として事業性評価という言葉がよく出てくるが、その手法は区々かつ抽象的なものも多く、新たな融資方法に結び付いていないケースが多い。

本論文では、既存の企業評価方法であるスコアリングの仕組みを検討し、①時代にあった、これまでにない金融機関同士の情報交換のための情報プラットフォームづくり、②広告会社などとタイアップした企業情報の可視化の仕組み、③AIを活用した情報分析のスキームなどを検討し、担保に頼らない、新しい企業融資の形を提案している。そのうえで、既存の金融機関では、企業側のニーズに柔軟に対応する本スキームが成り立ちにくいことも考慮し、どのような主体が本ビジネスモデルを実現できるのかを検討し、情報管理面も含めた新たな金融機関の設立の可能性についても提案している。